

# 三菱マテリアル株式会社

(証券コード：5711)

## 個人投資家様向け会社説明資料

2019年8月

経営戦略本部 経理・財務部

IR室長 板垣 秀康



# 目次

---

1. 三菱マテリアル沿革と概要
2. セグメント別の取り組み
3. 循環型ビジネスモデルの追求
4. 中期経営戦略について
5. 参考資料

# 1

## 三菱マテリアル沿革と概要

# 三菱マテリアル沿革と概要



▲三菱創始者 岩崎彌太郎

〈三菱史料館所蔵〉

## ■ 炭鉱事業に進出

1871年（明治4年）  
紀州新宮藩の炭鉱を租借

## ■ 金属鉱山事業に進出

1873年（明治6年）  
吉岡鉱山（岡山県）を買収



▲合併発表

1871  
九十九  
商会

1893  
三菱合資  
会社

1918  
三菱鉱業

1950  
三菱鉱業

1950  
太平鉱業

1952  
三菱金属  
鉱業

1973  
三菱鉱業  
セメント

1973  
三菱金属

1990  
三菱  
マテリアル

# 会社概要

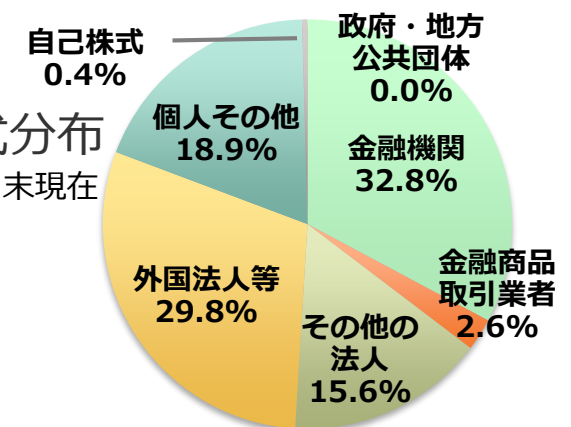
|            |                                                   |
|------------|---------------------------------------------------|
| 社名         | : 三菱マテリアル株式会社                                     |
| 本社         | : 東京都千代田区丸の内三丁目2番3号                               |
| 執行役社長      | : 小野 直樹（おの なおき）                                   |
| 資本金        | : 1,194億円（2019年3月末現在）                             |
| 会社設立年      | : 1950年                                           |
| 従業員数       | : 連結 28,426人（2019年3月末現在）<br>単体 4,807人（2019年3月末現在） |
| 連結対象子会社数   | : 152社（2019年3月末現在）                                |
| 持分法適用関連会社数 | : 16社（2019年3月末現在）<br>（世界30カ国、165拠点で事業展開）          |



## 株式状況 (証券コード: 5711)

|             |         |
|-------------|---------|
| 発行済株式総数     | 131百万株  |
| 単元株主        | 70,630名 |
| 単元株         | 100株    |
| ※2019年3月末現在 |         |

## 所有者別株式分布 ※2019年3月末現在



# 事業体制

## 高機能製品



- ・銅加工
- ・電子材料
- ・アルミ

## 加工



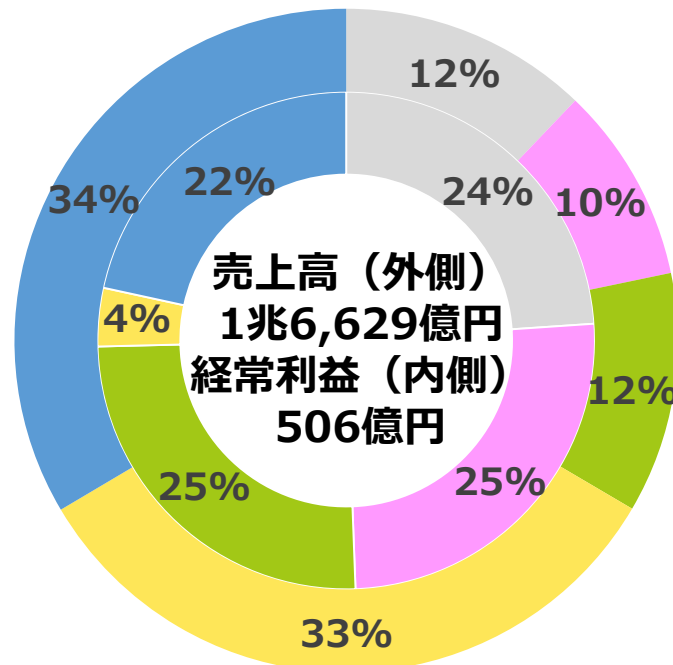
- ・超硬製品
- ・焼結製品

## 金属



- ・銅鉱山
- ・銅製錬

### 事業別売上高・経常利益比率 (2019年3月期) ※



※売上高は外部顧客への売上高

## セメント



- ・普通セメント
- ・セメント二次製品
- ・生コンクリート
- ・骨材

## その他

### 環境・エネルギー



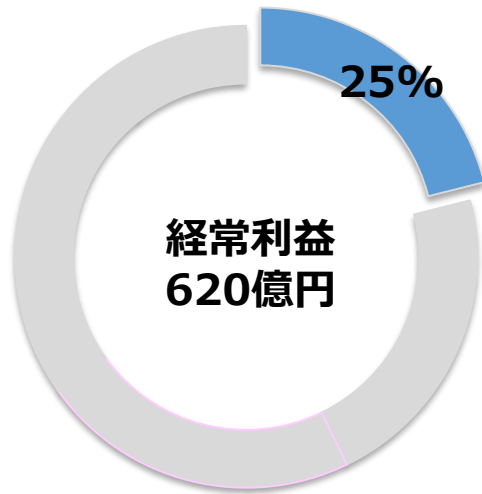
### その他

- ・エンジニアリング
- ・その他  
など

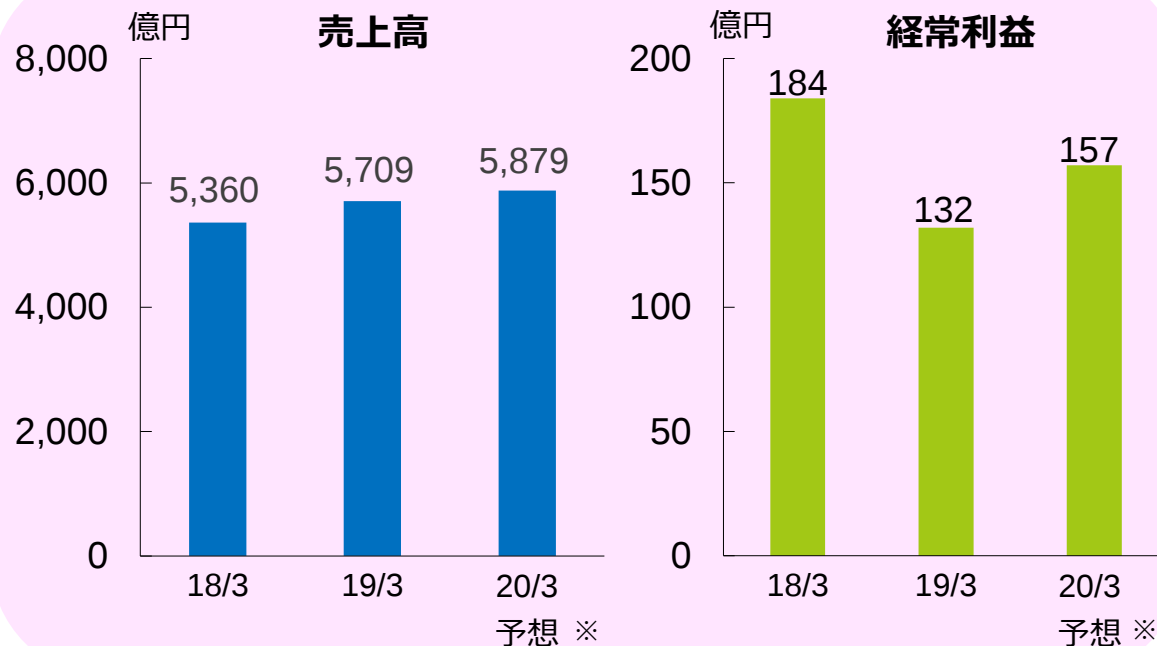
## **2** セグメント別の取り組み

高機能製品

# 高機能製品



経常利益比率（2020年3月期 予想）※



中  
長  
期  
の  
目  
標

コアコンピタンス（技術・業務）を磨き組み合わせた、顧客に無くてはならない高機能製品をグローバル・ファースト・サプライヤーとして提供し、持続可能で豊かな社会に貢献する

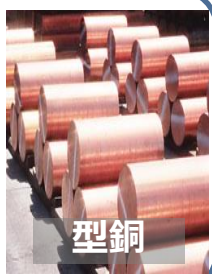
事  
業  
方  
針

・コアコンピタンス（技術・業務）を磨き組み合わせることで、新製品・新事業を創出し、顧客のウォンツを実現  
・マーケティング起点・マーケットインで物事を考え、勝ちパターンを追求

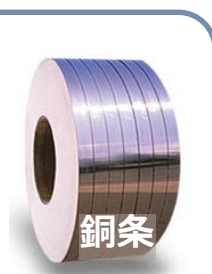
# 高機能製品～銅加工（1）～

事業体制：自社製造の型銅を傘下の伸銅会社へ供給

一次加工



二次加工



お客様

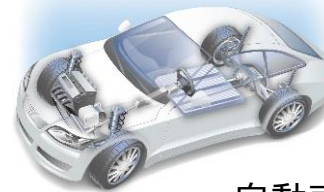
●最終製品

## 三菱伸銅社主要製品の用途例

端子材

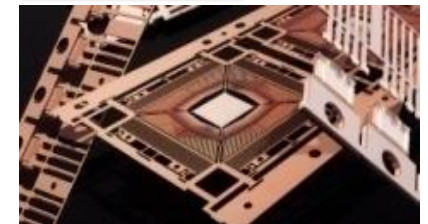


端子コネクタ

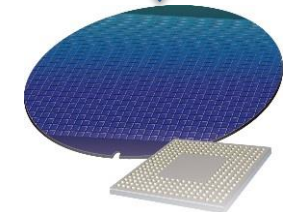


自動車

電子材

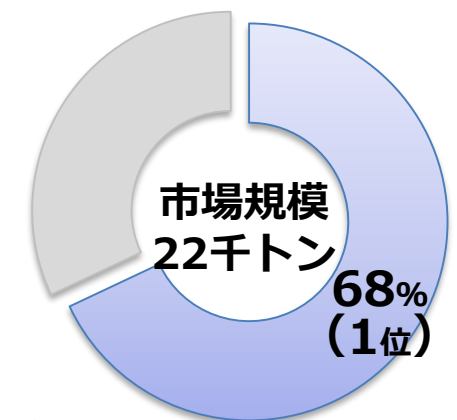
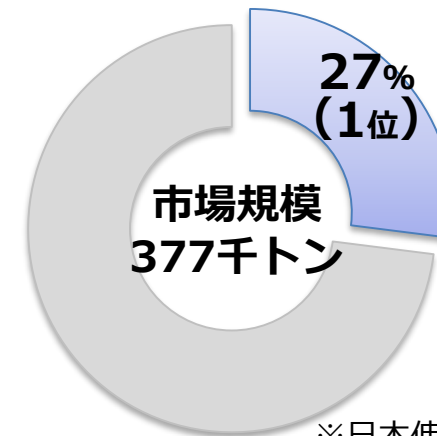


リードフレーム



半導体・電子機器

銅条製品国内シェア ※ 銅板製品国内シェア ※



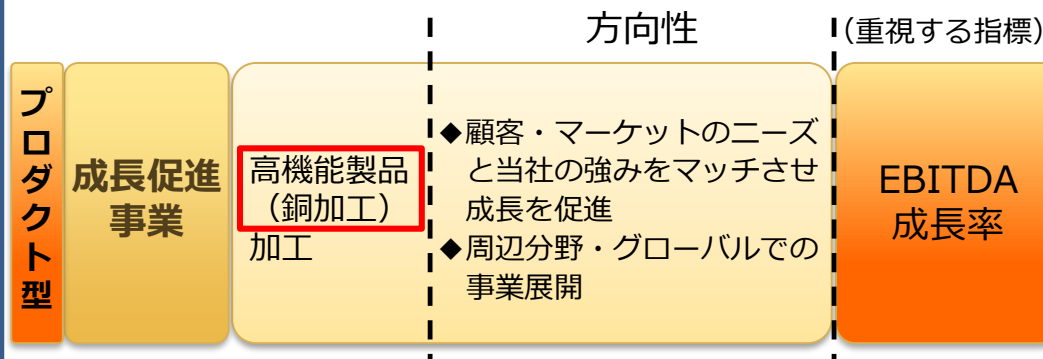
※日本伸銅協会（2017年度）

# 高機能製品～銅加工品（2）～

## 三菱伸銅社吸収合併

2019年7月 三菱伸銅社合併 発表  
2020年4月 合併予定日

### ◆銅加工事業の位置づけ

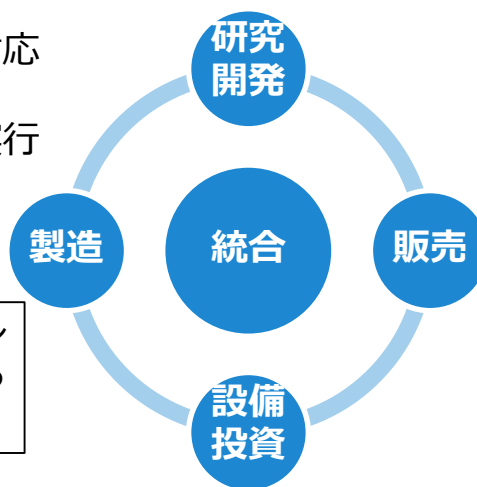


### ◆吸収合併の目的

レ技術的ニーズなどに迅速に対応  
レ経営リソースを一体化  
レ従来以上に積極的な投資を実行



銅加工業界におけるグローバルリーディングカンパニーとなることを目指す



※CASE…Connected、Autonomous、Shared & Services、Electricの頭文字。

### ◆マーケットのニーズ

大電流・高電圧化

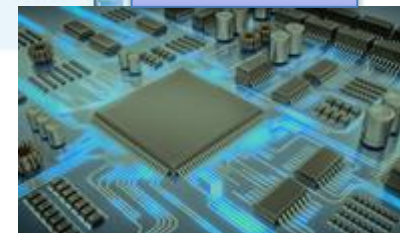
電子制御



IoT・AI

CASE ※

環境負荷の低減



### ◆戦略投資

2020～26年度までに総額約300億円<sup>※</sup>の設備投資を計画。旺盛な需要が見込まれる自動車関連製品を中心に、生産能力を約3割拡大。

圧延事業の拡大

押出事業の再編促進

堺工場の素材供給能力拡張及びグループ会社の拡販

Luvata社と連携し海外及び川下への事業展開強化

マーケティング力及び技術開発力の向上

# 高機能製品～銅加工（3）～

## Luvata社SP事業部門買収

16年9月 Luvata社SP事業部門の株式譲渡契約締結  
17年5月 クロージング完了

# LUVATA

### 会社概要（2018年12月期）

【本社所在地】 フィンランド、ポリ

【総売上高】 625百万€

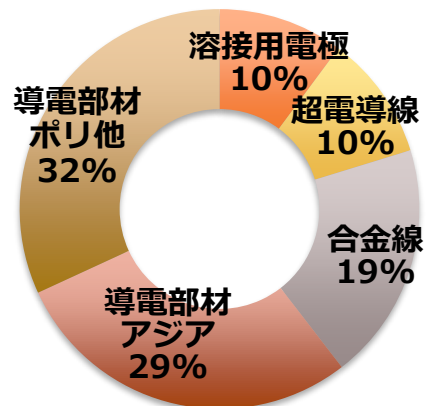
【製造・販売拠点】 7カ国12拠点

【従業員数】 1,415人

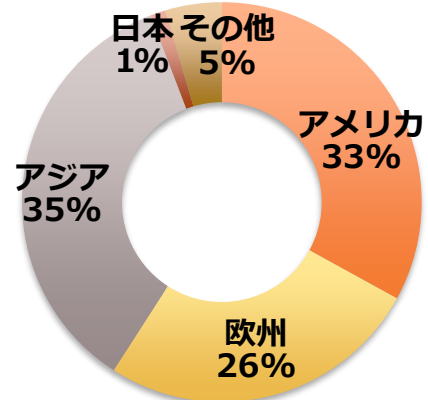


▲カパーインダストリアルパーク（ポリ）

### 事業別売上高比率



### 地域売上高比率



## Luvata社主要製品及びマーケット

### 溶接用電極



自動車



### 超電導ワイヤー



ヘルスケア



# 高機能製品～銅加工（４）～

## 重点施策：Luvata社とのシナジー

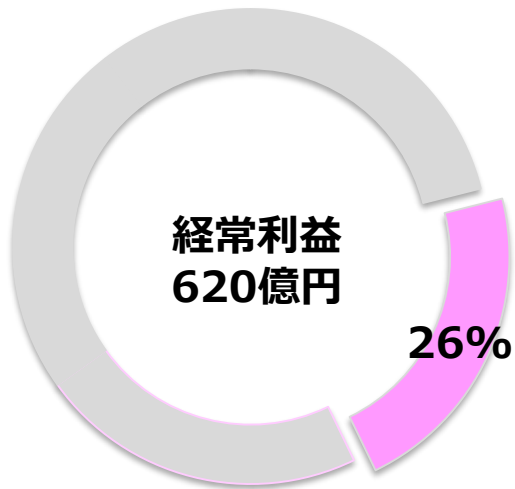


- ◆ 北米・欧州を中心に展開するLuvata社の販売・製造拠点を活用した当社グループ銅加工製品の拡販
- ◆ Luvata社製品の当社国内拠点を活用した拡販の実施
  - ➡ Luvata社拠点を活用したグローバル販売・製造体制の確立
  - ➡ Luvata社の協力による製品構成の最適化及びシェア拡大

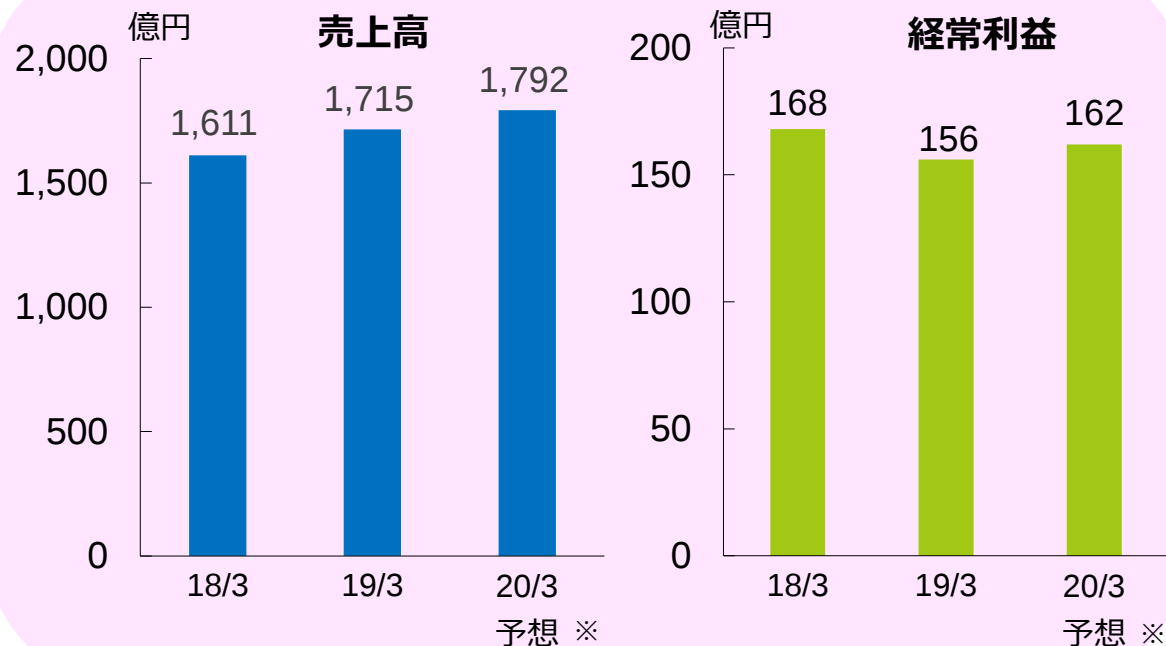
# セグメント別の取り組み

加 工 事 業

# 加工事業



経常利益比率（2020年3月期 予想）※



## 中長期の目標

高付加価値製品、サービス・ソリューションを提供できるグローバルプレーヤーとなる

## 事業方針

顧客視点に立ったスピードと変革を常に求め、実現し続けることで、顧客より真のパートナーとして信頼を得る、活力溢れたワクワクする事業体となる

# 超硬製品



機械加工に不可欠な工具

タングステン原料から一貫生産

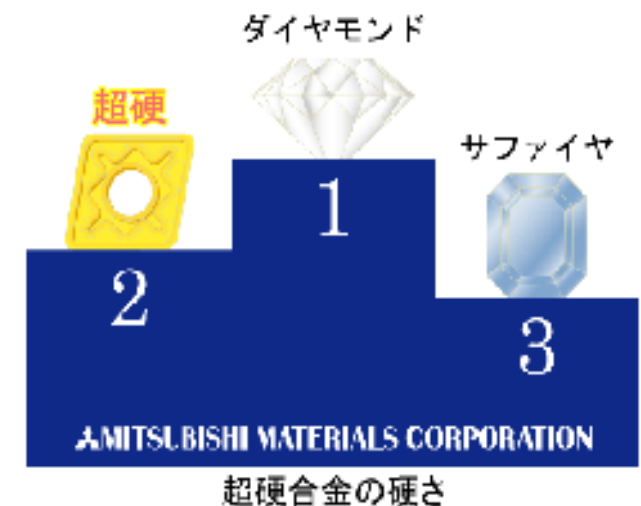
リサイクル強化

この工房でお客様とともに考え、  
創り、感動を分かち合い、  
お客様一人ひとりに合わせた  
ベストなソリューションとサービスを  
提供していく。

あなたの、世界の、総合工具工房。  
YOUR GLOBAL CRAFTSMAN STUDIO  
三菱マテリアル



YOUR GLOBAL CRAFTSMAN STUDIO



MITSUBISHI MATERIALS

# 加工事業～超硬製品（１）～

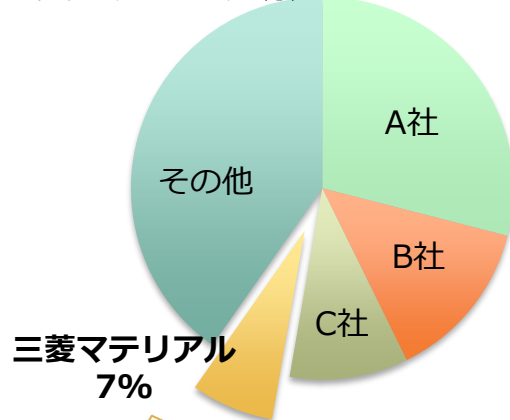
超硬工具市場規模：約2兆円/年※

※2018年、当社推定



シェア：世界4位、国内1位

超硬工具世界シェア※ ※当社推定

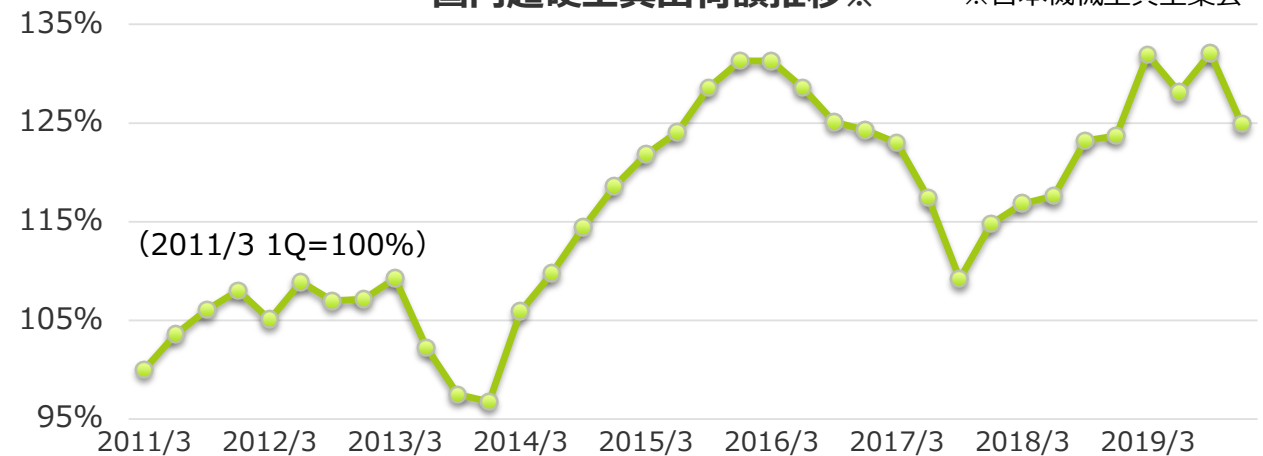


日立ツール社買収  
(15年4月)



国内超硬工具出荷額推移※

※日本機械工具工業会



三菱日立ツール社とのシナジー効果

## ◆主なシナジー発揮項目

開発：お互いの強みを生かした新製品開発

製造：設備相互活用による生産効率向上

営業：相互の販売チャンネル等のリソースも活用したグローバルでの拡販

その他：資材集中購買、ITシステムや物流の統合・共有化等

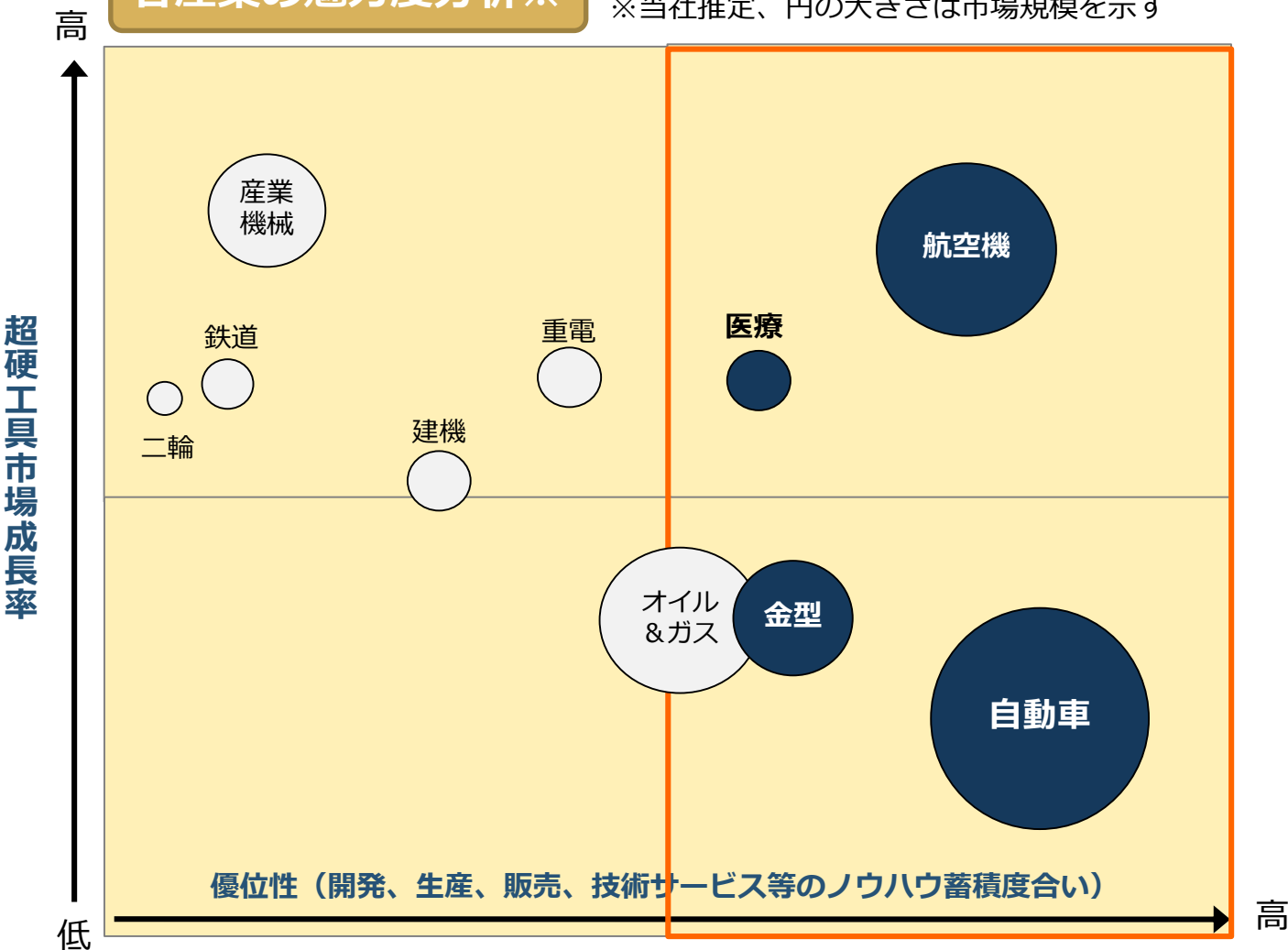
## ◆シナジー想定効果額(17～20年度)

年間5～10億円程度の効果発揮を計画

# 加工事業～超硬製品（2）～

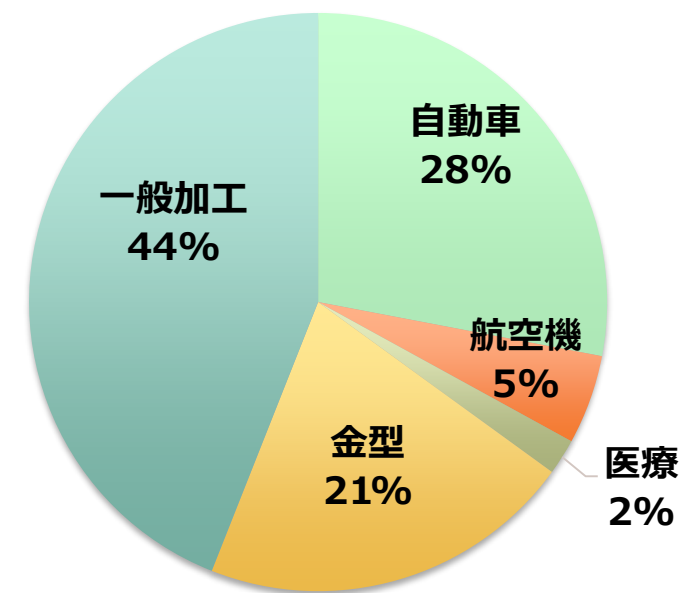
## 各産業の魅力度分析※

※当社推定、円の大きさは市場規模を示す



▼3～4% = 超硬工具市場  
平均成長率

## 当社の需要産業別売上比率 (2018年度)



# 加工事業～超硬製品（3）～

## 重点施策：ソリューション提供力の強化

重点産業

航空  
宇宙

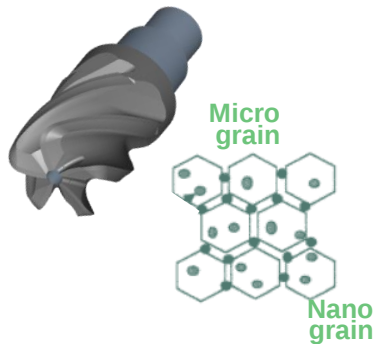
自動車

医療

金型

航空宇宙産業

### 「技術力」



難削材・新素材に  
対する強み

- 成長ステージにつき、経営資源を優先的に投入
- 専門性を蓄積し、顧客と密接な関係を構築
- 開発初期から新規案件に参画し、試作品にも迅速対応

### 「組織力」

マーケティング

研究/開発

試作

製造

営業

航空宇宙部

×

自動車産業

- エンジニアリング部隊を編成し顧客へ面に対応
- 工作機械や工具ホルダーメーカーとの関係強化

医療産業

- 米国での専門部隊立上、専門性を持つ要員の確保、製品ラインナップ拡充、M&A・協業も視野に検討

金型産業

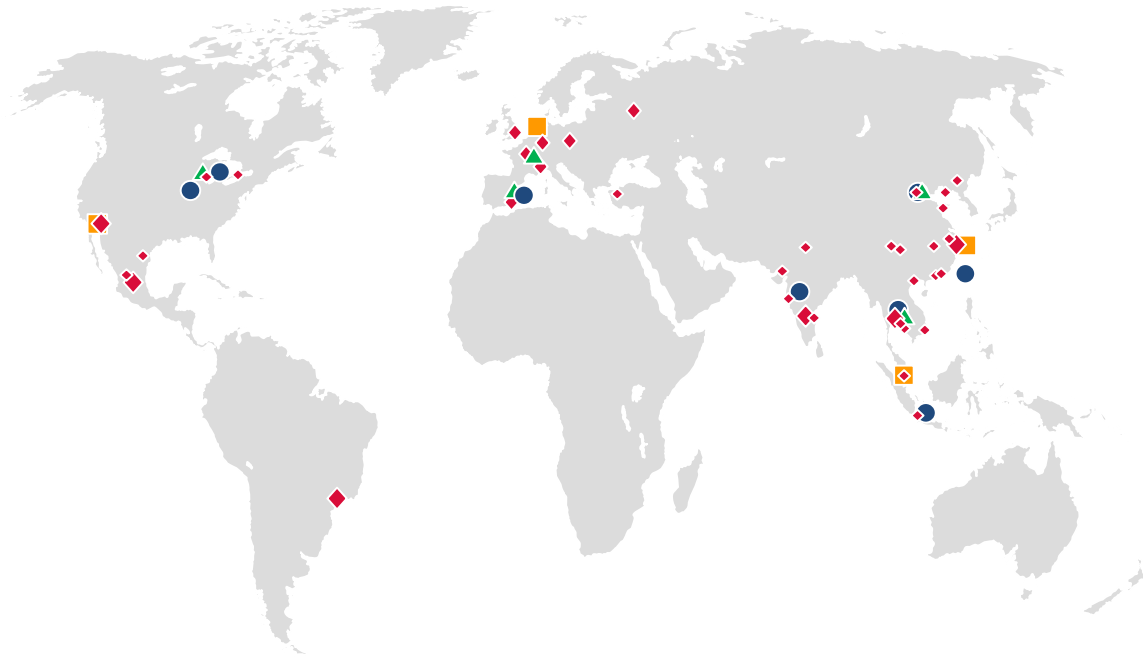
- 三菱日立ツール社とのリソースを有効活用し、新規顧客を開拓、金型産業世界シェアNo.1

# 加工事業～超硬製品（4）～

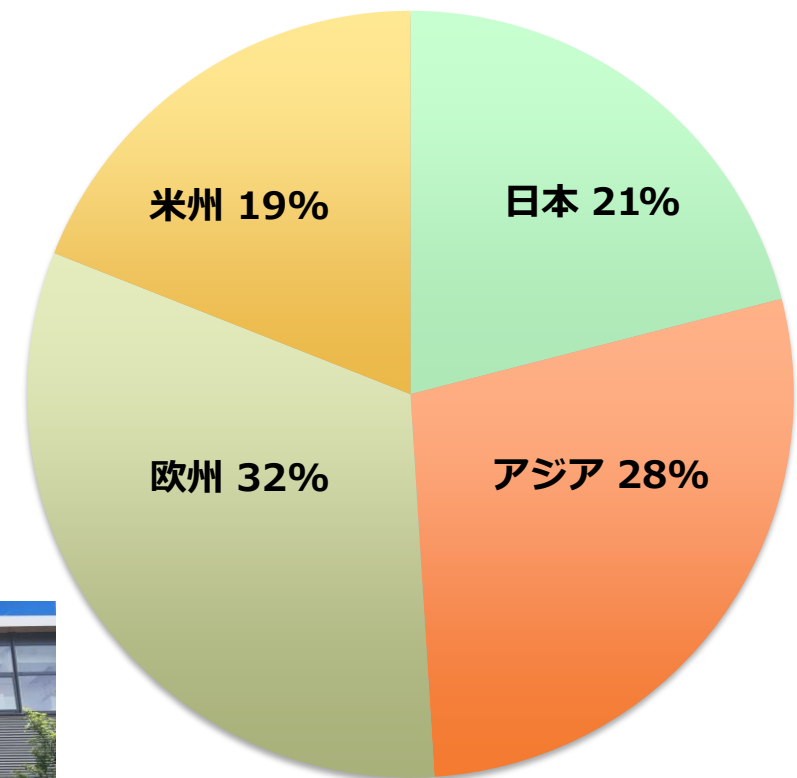
## グローバルに生産・販売拠点を展開

### 超硬工具海外ネットワーク

- ◆ 販売拠点：38箇所
- 製造拠点：7箇所
- ▲ 技術拠点：5箇所
- 在庫拠点：4箇所



### 超硬工具の地域別販売構成比 (2018年度)



### 18年度実績、19年度実績

#### 技術拠点：

18年10月 北米のテクニカルセンターを移設・拡充

19年 6月 ドイツにテクニカルセンターを新設

### 今後の計画

#### 技術拠点：

インドでのテクニカルセンターの開設を計画

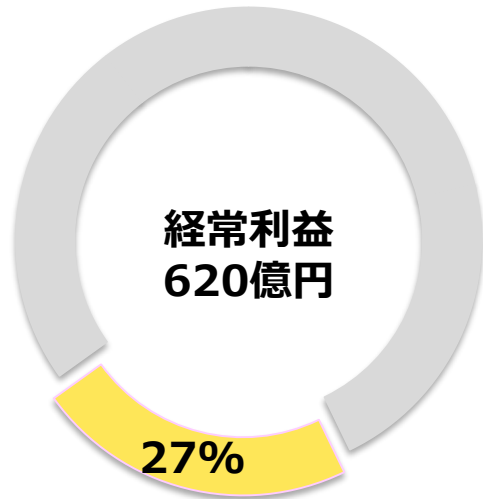


▲ドイツテクニカルセンター外観

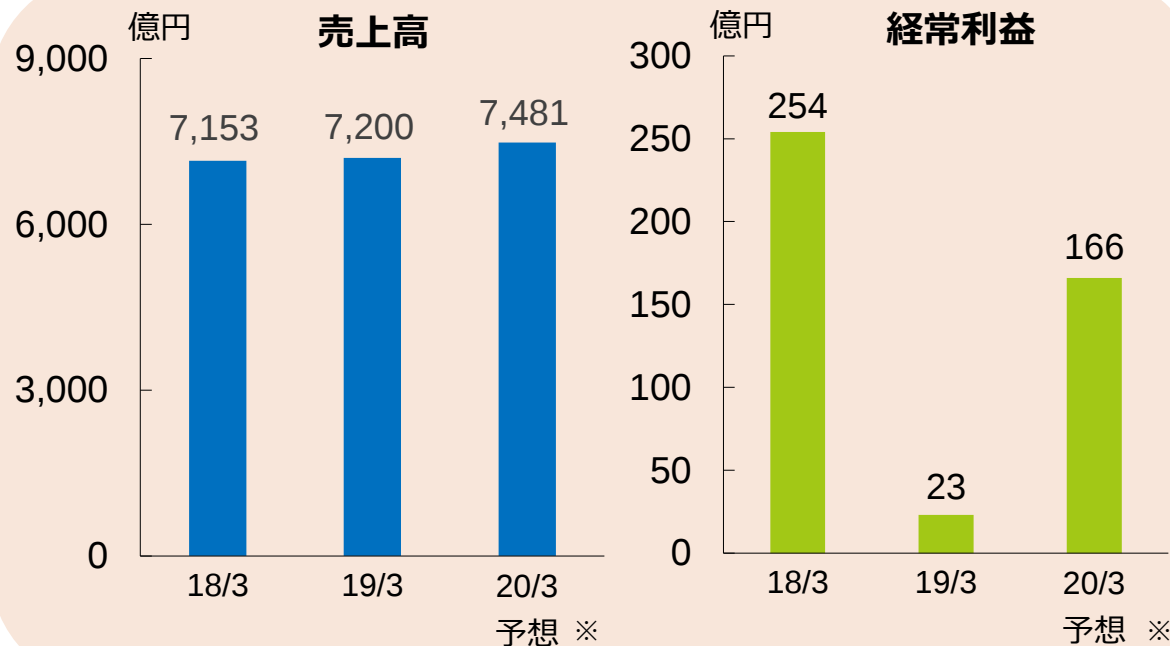
# セグメント別の取り組み

金 属 事 業

# 金属事業



経常利益比率（2020年3月期 予想）※



## 中長期の目標

- ◆ 製錬所への銅精鉱の安定供給と鉱山事業収益のための新規鉱山投資
- ◆ 安定的なリサイクル事業の構築と高収益化
- ◆ 高品質な材料の安定供給による高機能製品製造への貢献

## 事業方針

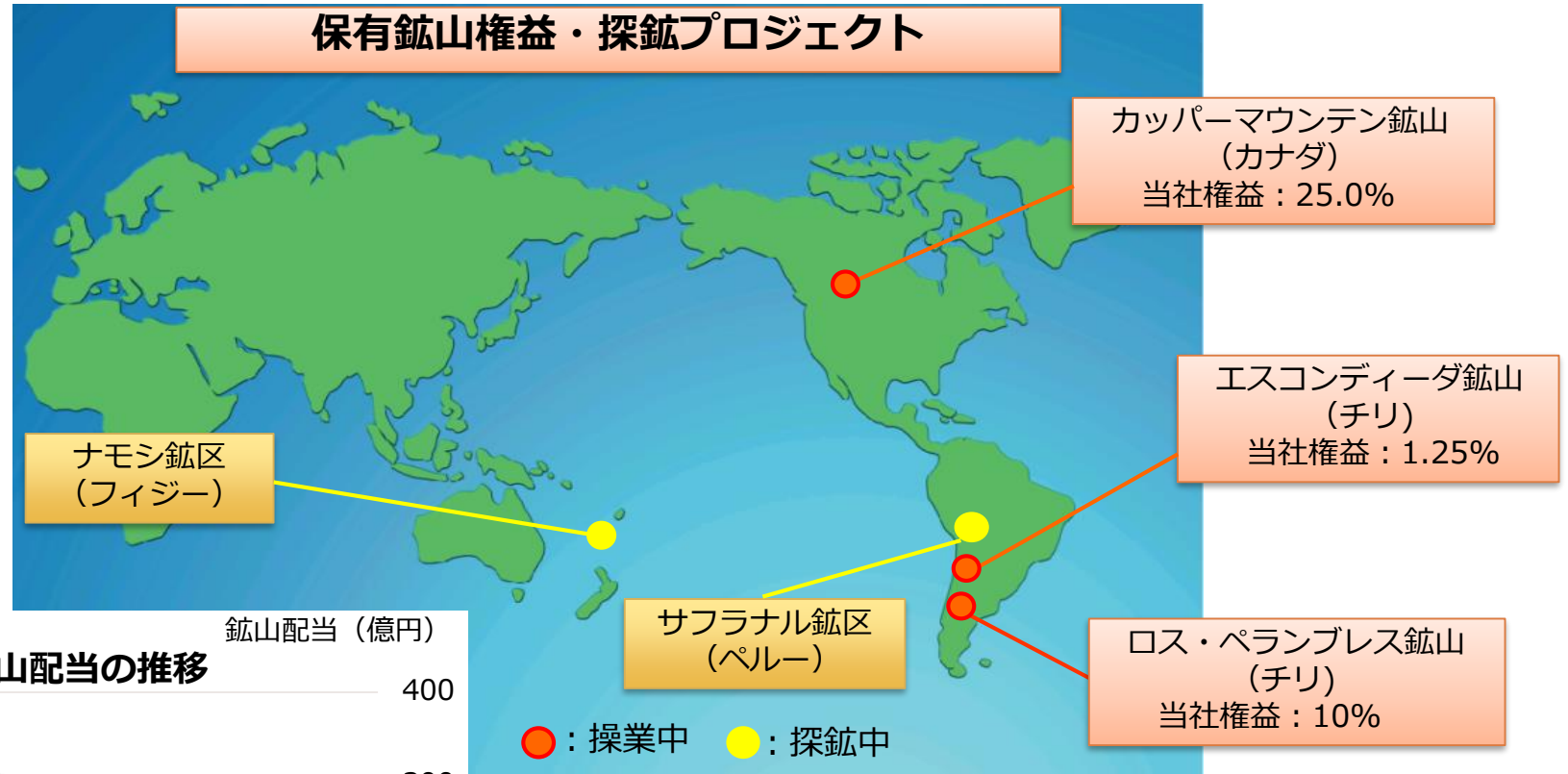
資源開発からリサイクルまで非鉄金属を通じた循環型社会への貢献

# 銅鉱山事業

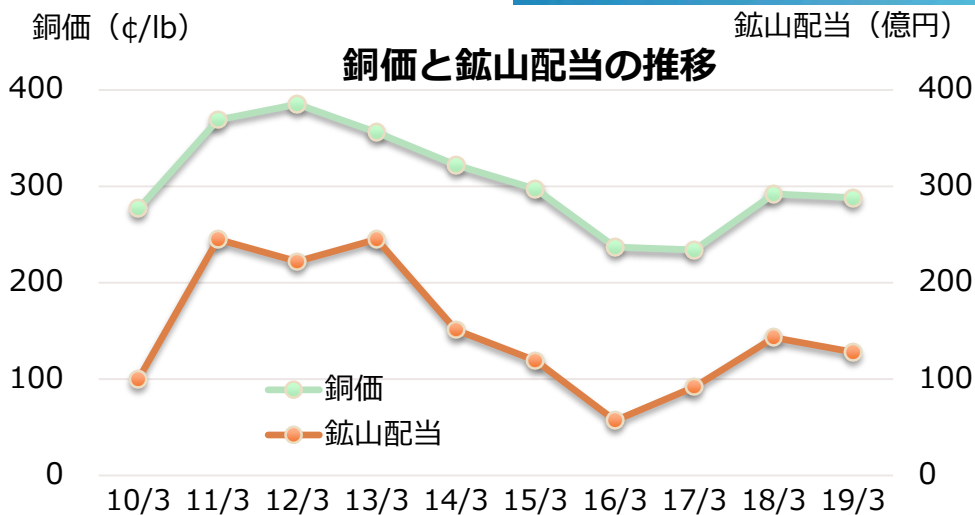
長期目標：支配鉱比率※約30%⇒50%超

※支配鉱比率：出資鉱山からの権益見合いの鉱石に、契約でオフテイク権を確保している鉱石を加えた比率。

## 保有鉱山権益・探鉱プロジェクト



## 銅価と鉱山配当の推移



# 銅製錬事業（1）～

## 国内2拠点、海外1拠点の合計3拠点体制

直島製錬所

電気銅：23万t / 年  
E-Scrap：12万t / 年

小名浜製錬所

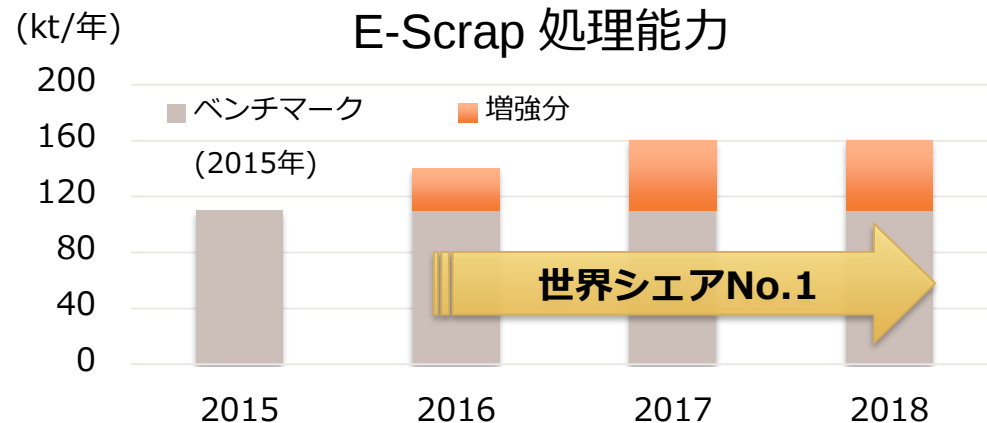
電気銅：30万t / 年  
E-Scrap：4万t / 年

インドネシアPTS

電気銅：30万t / 年



▲金銀滓（E-Scrap）



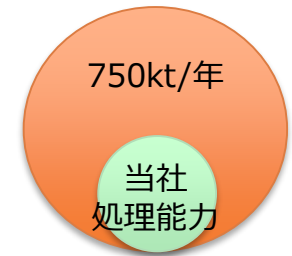
## リサイクル事業強化

### E-Scrap処理拡大

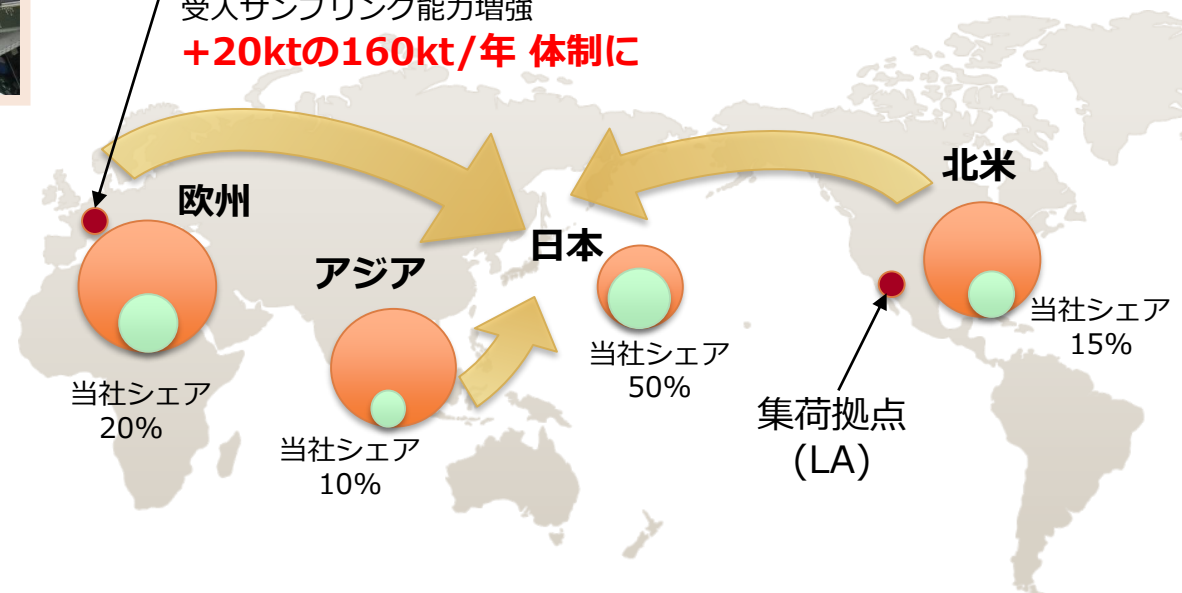


MMMR  
(MM Metal Recycling B.V.)設立  
受入サンプリング能力増強  
**+20ktの160kt/年 体制に**

E-Scrap全世界発生量  
(当社推計)



160kt/年 (2018年度)  
当社シェア20%  
(円の大きさは量を示します)

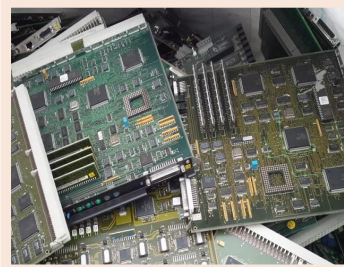


# 銅製錬事業（2）～

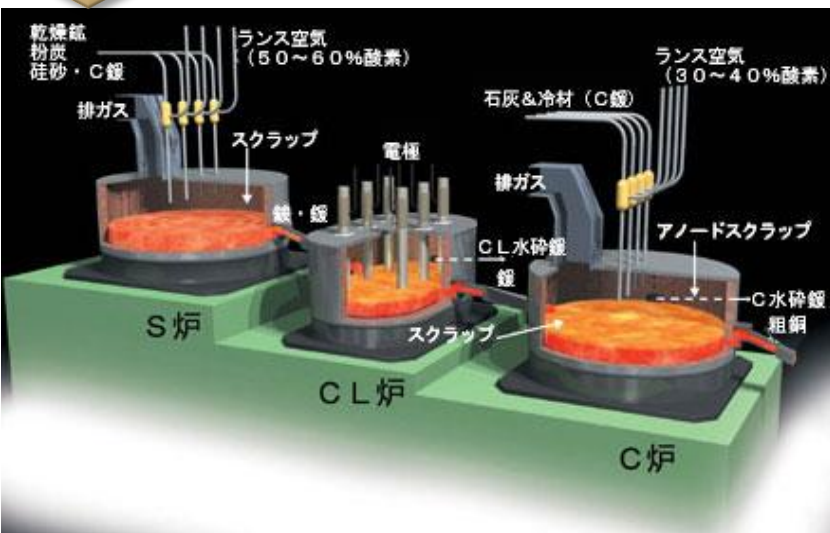
## 三菱連続製銅法



▲銅精鉱

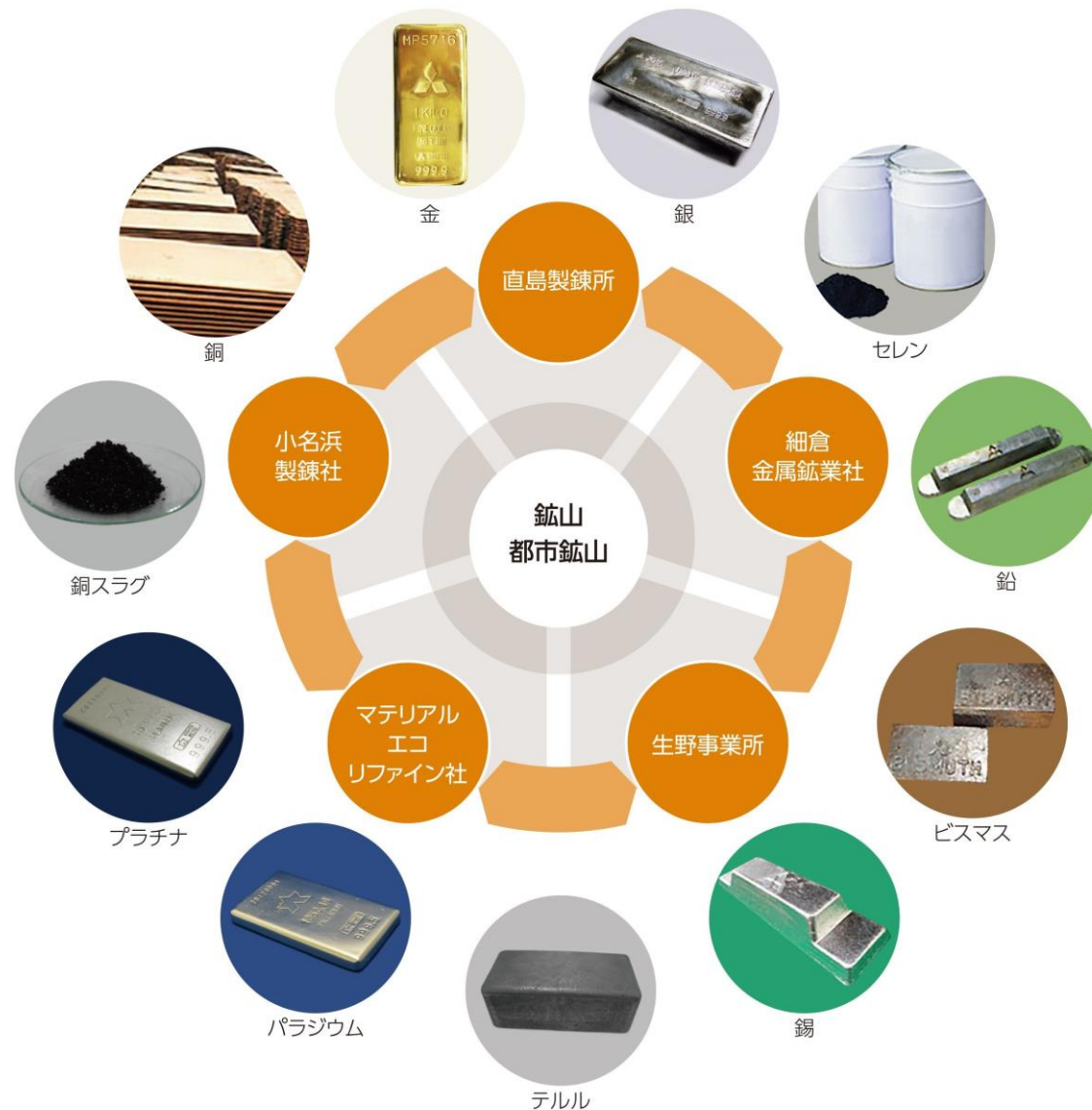


▲金銀滓（E-Scrap）



コスト・環境負荷に優位性

## 当社グループの有価金属回収



# 貴金属事業 世界が認めたブランド「三菱の金」

## ■ 100年を超える歴史を持つ「三菱の金」



100年、輝く。

変わらぬ信頼、書きもめる、三菱の金  
三菱マテリアル

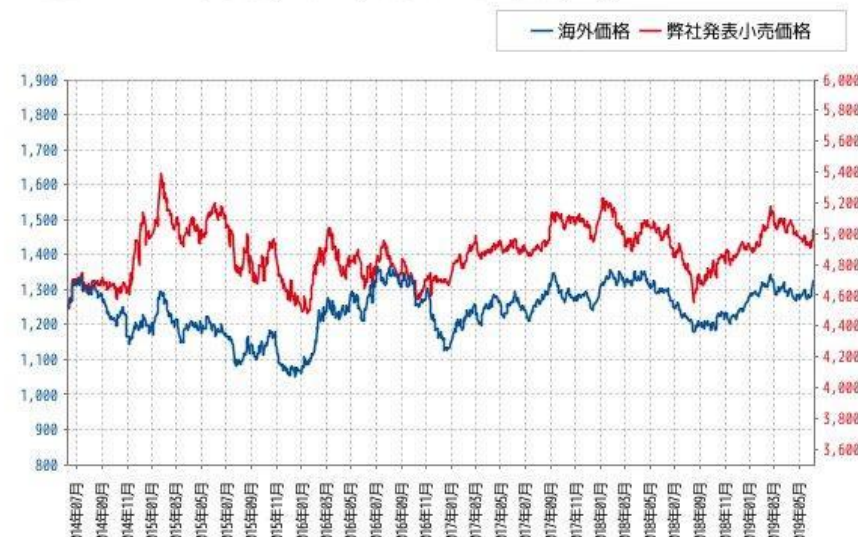
## ■ 1kg 金地金



■ カンガルー金貨

## ■ 過去5年間 金価格推移

金価格2014-2019 海外価格(US\$/toz) / 弊社発表小売価格(¥/g)



三菱マテリアルの純金積立  
[マイ・ゴールドパートナー]



金・プラチナ・銀  
3種の貴金属のお取引が可能！



受け取りは  
地金引出し、金貨・ジュエリー交換、売却から選択！



インターネット取引「オンライントレード」なら  
優遇価格も！

会員様 専用ダイヤル

0120-3214-39

受付時間 10:00~17:00 (日曜・祝日を除く)

26 | 2019年8月17日



金地金・金貨の  
ご購入・ご売却



### ◆ ご来店

三菱マテリアル直営店  
ゴールドショップ 三菱  
仙台店、東京・丸の内店、  
名古屋店、大阪店、福岡店

### ◆ お電話

受付時間 10:00~17:00  
(日曜・祝日を除く)

売買 専用ダイヤル 0120-45-3214

受付時間 10:00~17:00 (日曜・祝日を除く)



### ◆ ゴールドセミナー開催

ゴールドショップ 三菱各店では  
金のことが良くわかるセミナー  
を定期開催しています。  
詳しくは、地金情報発信サイト  
「ゴールドパーク」へ！

三菱の金

検索

## 株主様ご優待制度

(詳細条件やお手続きはお問い合わせください)

### ◆ 三菱マテリアルの純金積立 [マイ・ゴールドパートナー]

ご購入・ご売却時に

- ① 金・プラチナは、1gあたり5円(税抜)優待
- ② 銀は1kgあたり100円(税抜)優待

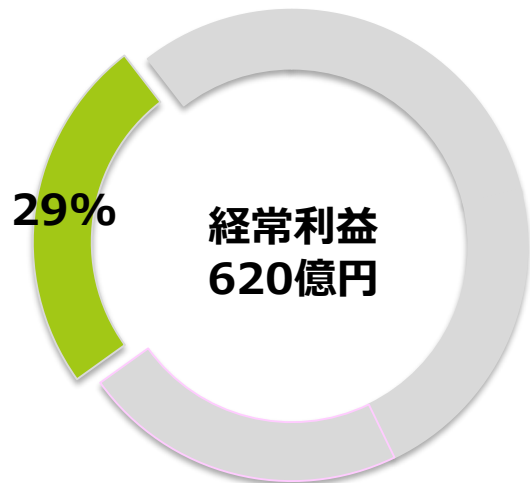
### ◆ 金地金現物売買

- ① 金地金はご購入・ご売却時に、1gあたり5円(税抜)優待  
(ご売却時の優待適用は三菱ブランドに限る)
- ② 金貨は1オンスあたり160円(税込)優待  
メイブルーフ、カンガルー、ウィーン金貨ハーモニーが対象  
(1/10オンスを除く)

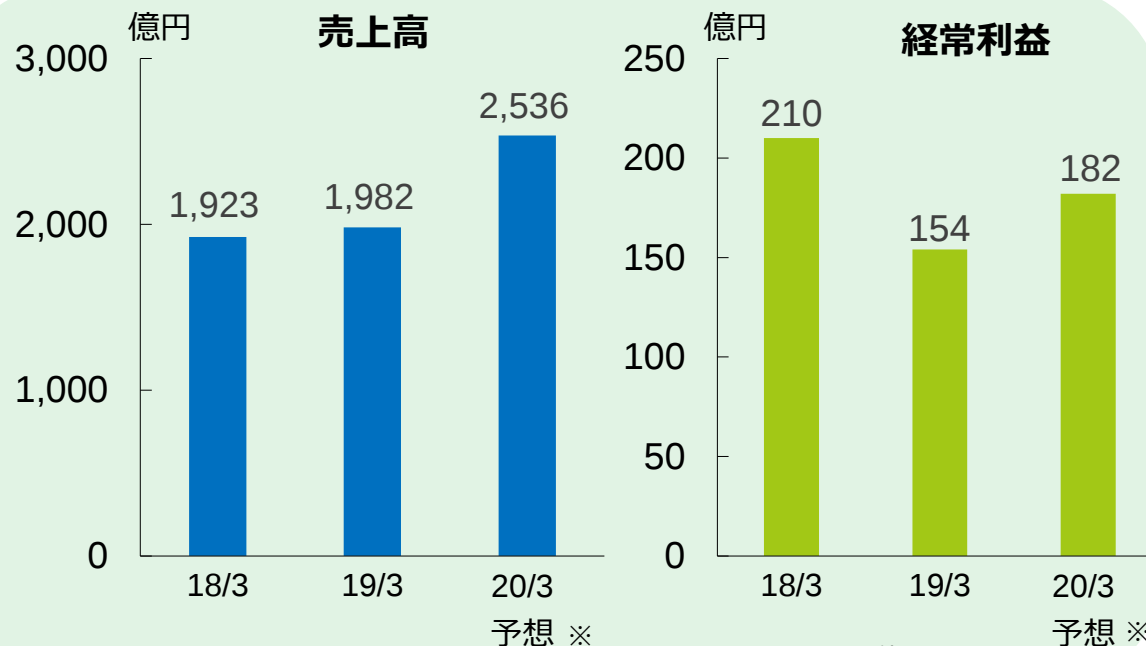
MITSUBISHI MATERIALS

## セメント事業

# セメント事業



経常利益比率（2020年3月期 予想）※



※2019年5月13日公表値

本年4月1日付で「その他の事業」に属する石炭関連事業を「セメント事業」に移管しております。

九州工場



中長期の目標

- ◆ 効率性におけるセメント業界のリーディングカンパニー
- ◆ 海外ではローカルエリアチャンピオン

事業方針

- ◆ 成熟化して縮小する国内市場で優位を形成する
- ◆ 国内事業から得られる安定的なキャッシュを支えに海外で成長

# グローバルで事業展開

## 国内

工場：九州、横瀬、岩手、青森  
セメント生産能力：約720万t/年  
販売：宇部三菱セメント社



## ベトナム

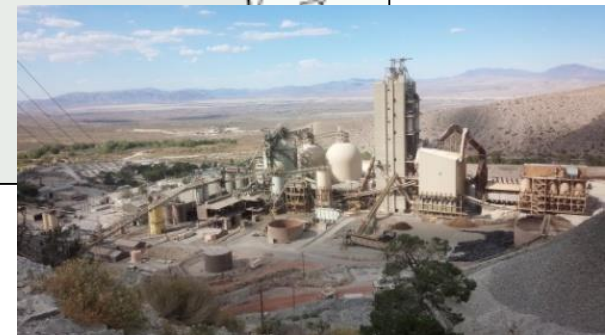
出資比率：19.5%



東南アジア、  
オセアニア  
に輸出拡大

## 米国三菱セメント社

工場：米国 カリフォルニア州  
セメント生産能力：160万t/年  
MMCデベロップメント社（生コン・骨材）



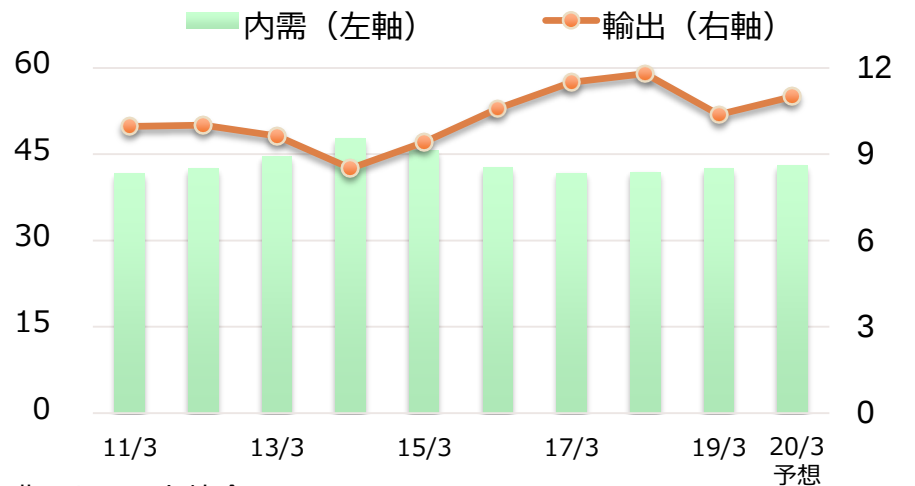
# セメント事業 ～日本～

## 国内事業の需要環境

首都圏再開発関連工事、リニア新幹線建設による国内需要増へ対応

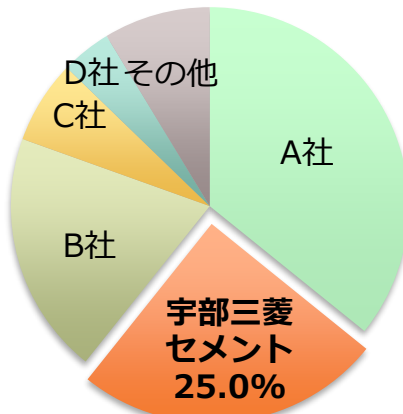
内需と輸出の推移※

単位：百万t



※出典：セメント協会

国内販売シェア※



※当社推定

## 環境リサイクル事業

リサイクル事業による収益力強化



▲建設発生土



▲廃石膏ボード



▲廃プラスチック

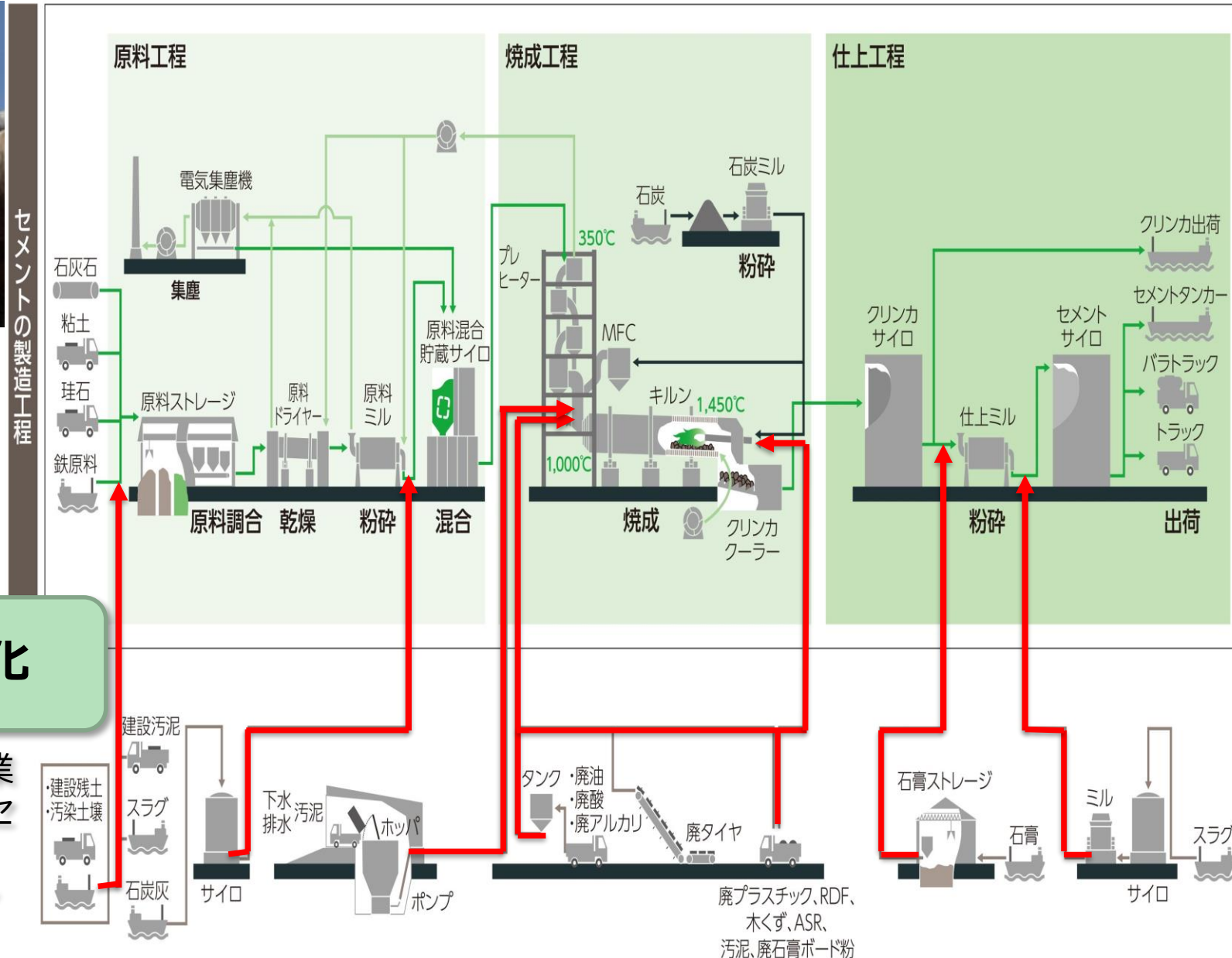
廃棄物・副産物  
受入実績

約419万t/年

セメント1t  
当たり使用量

445kg

# セメントの製造プロセス

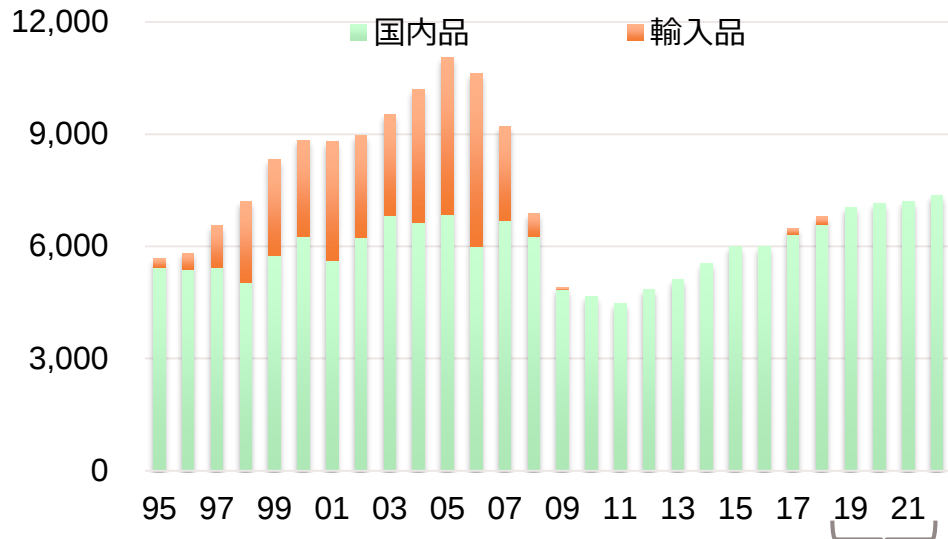


# セメント事業 ～米国～

## 米国事業の需要環境

南カリフォルニア地域のセメント需要推移

単位：千メトリックトン



※出典：PCA

予想



▼ロングビーチターミナル



## セメント・生コンの一体運営 生コンは南カリフォルニア地区でトップシェア

▼米国三菱セメント

クッシェンベリー工場



▼ロバートソン・レディ・ミックス社

生コン工場



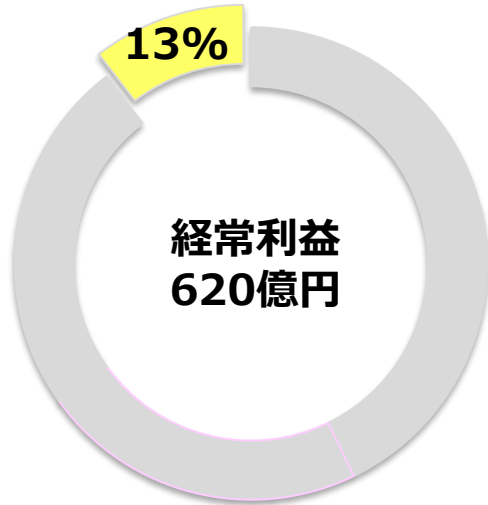
米国三菱セメント社：セメント生産

生産能力 160万t/年

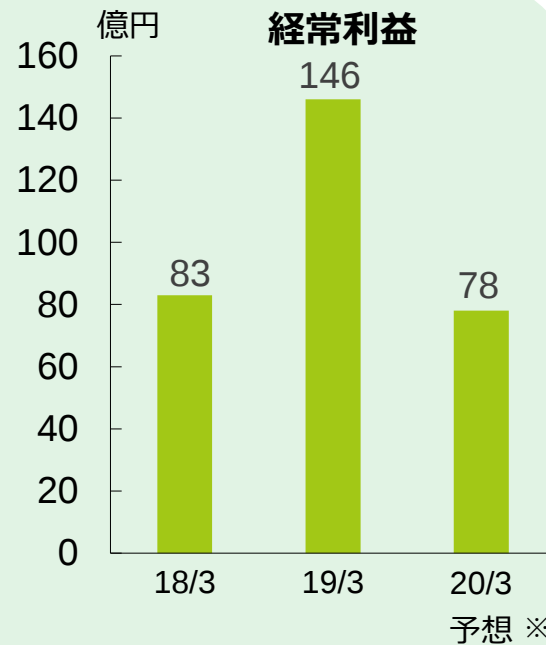
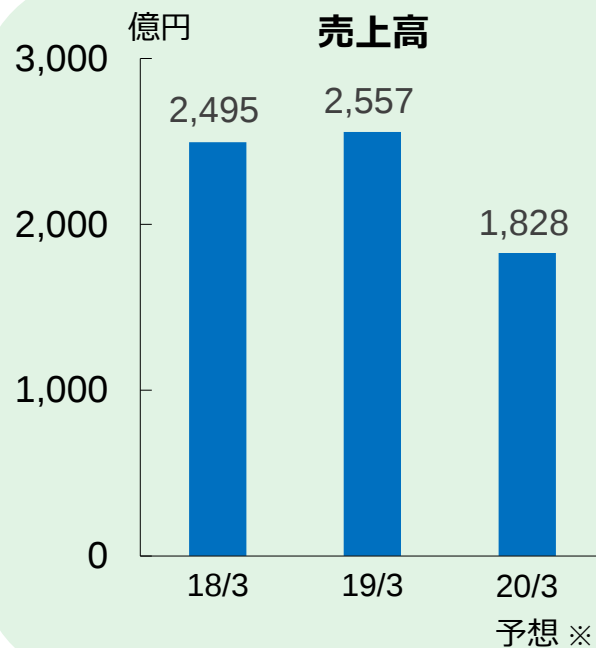
ロバートソン・レディ・ミックス社：生コン・  
骨材事業

## その他事業

# その他事業



経常利益比率（2020年3月期 予想）※



※2019年5月13日公表値

本年4月1日付で「その他の事業」に属する石炭関連事業を「セメント事業」に移管しております。



中長期の目標

- ◆ ステークホルダーに信頼されるリサイクル事業の創設、拡大
- ◆ 地熱発電に関する総合力国内No.1企業

事業方針

当社グループの特色を生かしたリサイクル事業及びエネルギー事業を推進することにより、持続可能で環境負荷の低い循環型社会構築への貢献

# その他事業

## 環境リサイクルへの取り組み

素材産業としての特徴・機能を活用し、最終処分場に依存することの無い、ステークホルダーに信頼されるリサイクル事業の創設、拡大を通して循環型社会構築の一役を担う。

- : 家電リサイクル
- : 自動車リサイクル
- : 飛灰処理
- : バイオガス



自動車リサイクル



家電リサイクル  
冷蔵庫処理ライン



飛灰処理：  
北九州アッシュリサイクルシステムズ社営業運転開始（2018年4月）



バイオガス：  
ニューエナジーふじみ野社設立（2018年5月）

## 再生可能エネルギーへの取り組み

当社が培ってきた経営資源をベースとして、再生可能エネルギー事業を拡大し、環境負荷の少ないエネルギーを安定供給することで持続可能な社会の構築に貢献する。

- ▲ : 地熱 (▲) : 調査中
- ▲ : 水力
- ▲ : メガソーラー



水力：秋田県森吉ダム  
小又川新発電所着工  
（2019年5月）



地熱：秋田県湯沢市  
山葵沢地熱発電所運転開始  
（2019年5月）



メガソーラー：  
福井県福井市  
福井太陽光発電所

# 3

## 循環型ビジネスモデルの追求

# 循環型ビジネスモデルの追求

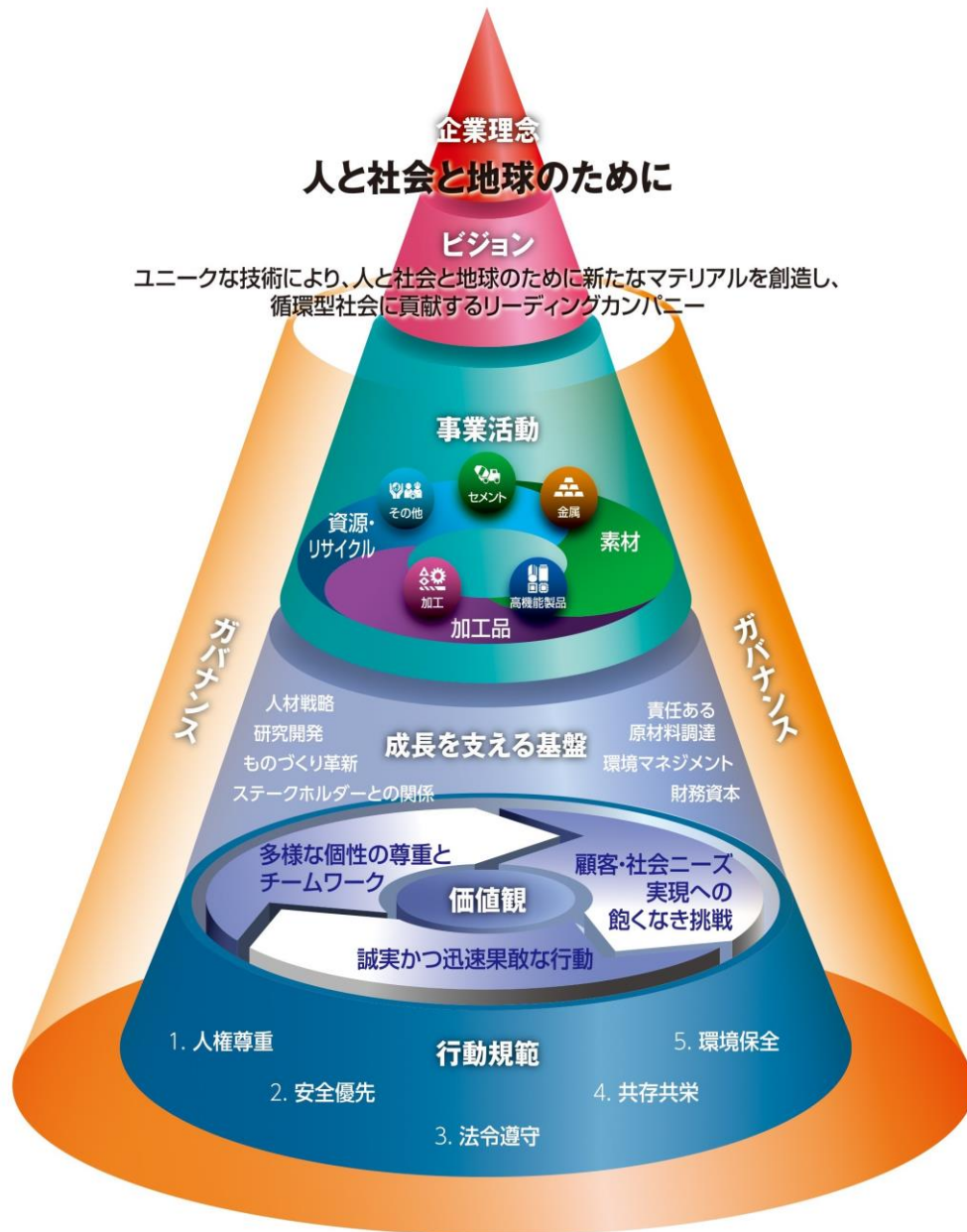
## 当社グループの 循環型ビジネスモデル



# 4

## 中期経営戦略について

# 全社方針



## 長期経営方針

### 中長期の目標（目指す姿）

- ◆ 国内外の主要マーケットにおけるリーディングカンパニー
- ◆ 高い収益性・効率性の実現
- ◆ 市場成長率を上回る成長の実現

## 全社方針

- ◆ 事業ポートフォリオの最適化
- ◆ 事業競争力の徹底追求
- ◆ **新製品・新事業の創出**

## 中期経営戦略

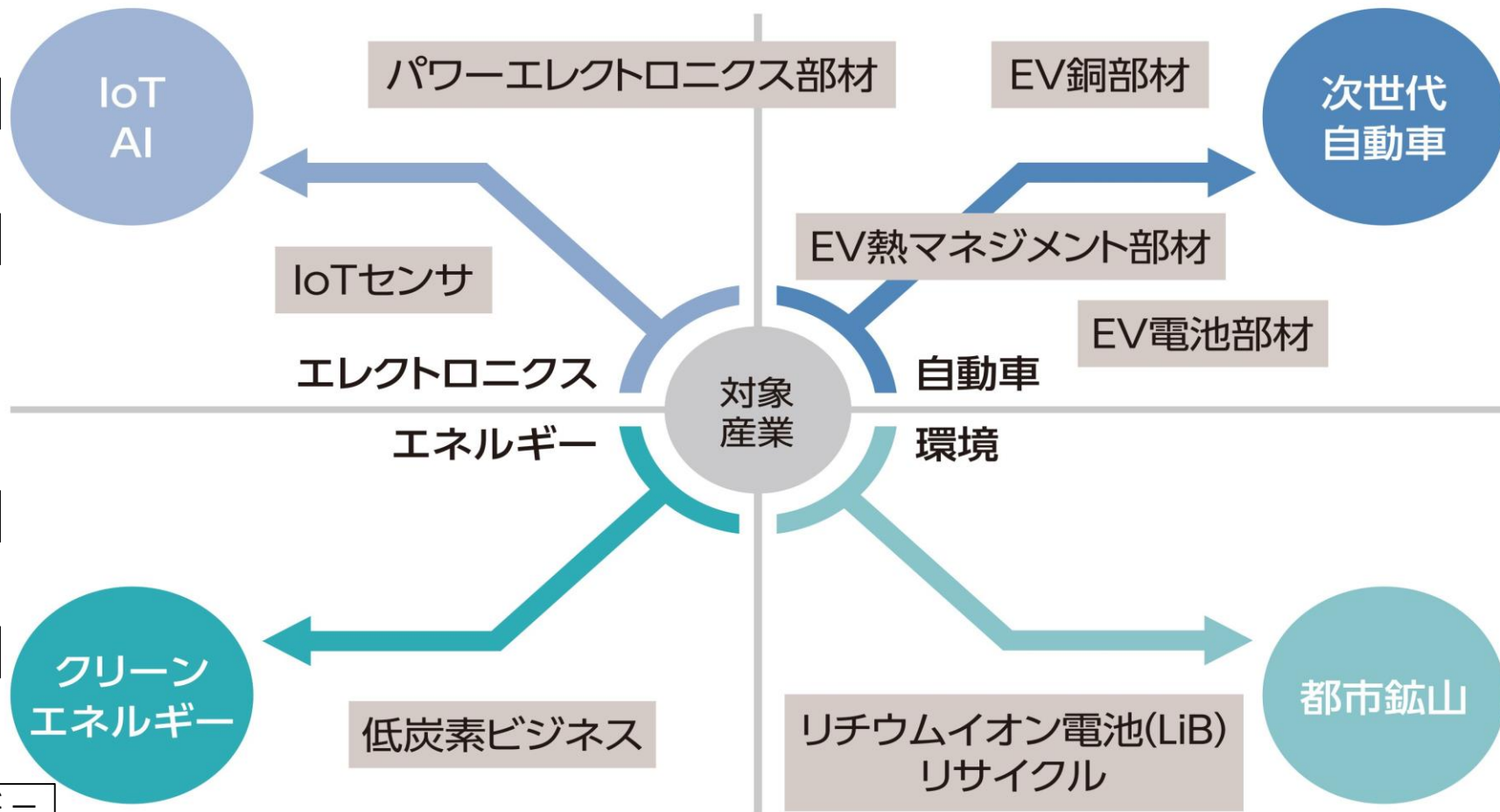
### 中経重点戦略

- ◆ イノベーションによる成長の実現
- ◆ 循環型社会の構築を通じた価値の創造
- ◆ 成長投資を通じた市場プレゼンスの拡大
- ◆ 継続的な改善を通じた効率化の追求

# 新製品・新事業の創出

当社が捉えるべきニーズ

次世代自動車、IoT・AI



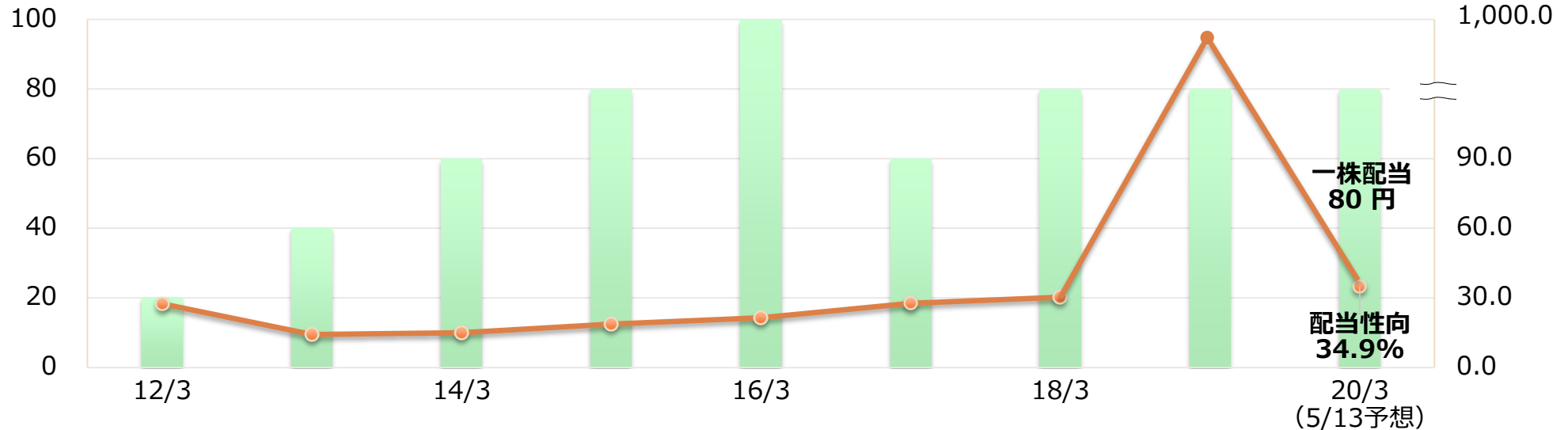
当社が捉えるべきニーズ

持続可能な豊かな社会の構築

# 株主還元

単位：円

一株配当（株式併合後ベース）と配当性向の推移



|    | 2016年度（実績） | 2017～2019年度 |
|----|------------|-------------|
| 配当 | 60 円／株※    | 80 円／株      |

- ◆当社業績の変動時においても安定的な配当を旨とし、2019年度までの配当は **年間 80円／株**（2017年度の配当額と同額）とする。
- ◆但し、連結配当性向が25%を下回る場合は、25%まで一時的な増配、あるいは自己株式の取得を行う。

※2016年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。  
これに伴い、12/3～17/3の配当は12/3の期首に当該株式併合が行われたと仮定し算定したものです。

## 企業理念

### 「人と社会と地球のために」



#### ビジョン

ユニークな技術により、人と社会と地球のために新たなマテリアルを創造し、循環型社会に貢献するリーディングカンパニー

#### 価値観

- ◆ 多様な個性の尊重とチームワーク
- ◆ 誠実かつ迅速果敢な行動
- ◆ 顧客・社会ニーズ実現への飽くなき挑戦

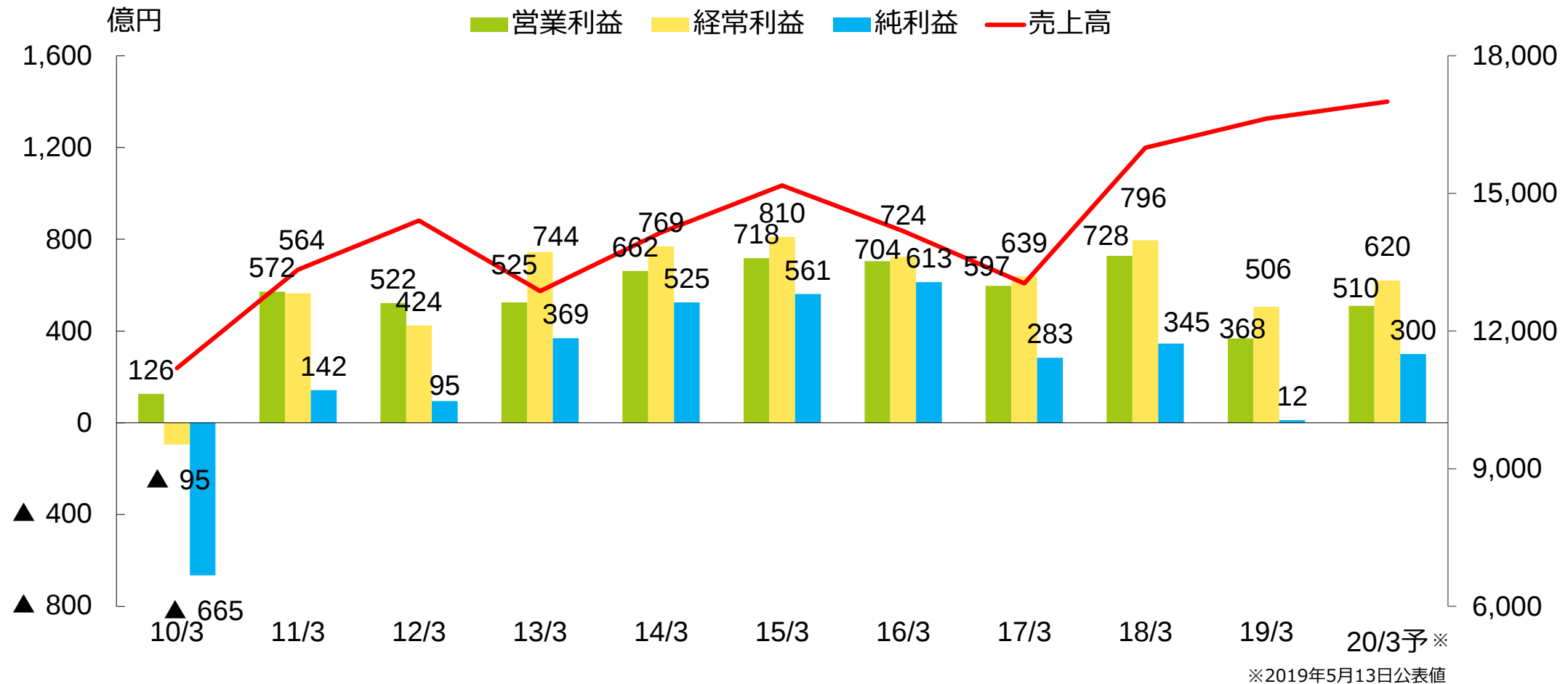
#### 行動規範

- |     |      |     |      |
|-----|------|-----|------|
| 第1章 | 人権尊重 | 第4章 | 共存共栄 |
| 第2章 | 安全優先 | 第5章 | 環境保全 |
| 第3章 | 法令遵守 |     |      |

# 5

# 参 考 資 料

# 業績推移



| 年度            | 10/3 | 11/3 | 12/3 | 13/3 | 14/3 | 15/3 | 16/3 | 17/3 | 18/3 | 19/3 | 20/3<br>(予) |
|---------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------------|
| 自己資本比率        | 19%  | 19%  | 20%  | 22%  | 26%  | 29%  | 31%  | 33%  | 34%  | 33%  | —           |
| ネットD/Eレシオ (倍) | 2.1  | 2.0  | 1.8  | 1.6  | 1.3  | 1.0  | 0.8  | 0.6  | 0.6  | 0.6  | 0.6         |

## お問合せ先

三菱マテリアル株式会社

経営戦略本部 経理・財務部 IR室

〒100-8117 東京都千代田区丸の内3-2-3 丸の内二重橋ビル

TEL : 03-5252-5290

URL:<http://www.mmc.co.jp/corporate/ja/index.html>

本資料における見通しは、本資料発表日時点で入手可能な情報により当社が判断したものです。実際の業績は様々なリスク要因や不確実な要素により、本資料業績予想と大きく異なる可能性があります。

また、本資料のいかなる情報も、三菱マテリアル当社株式等の購入や売却等を勧誘するものではありません。銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

# Note

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---